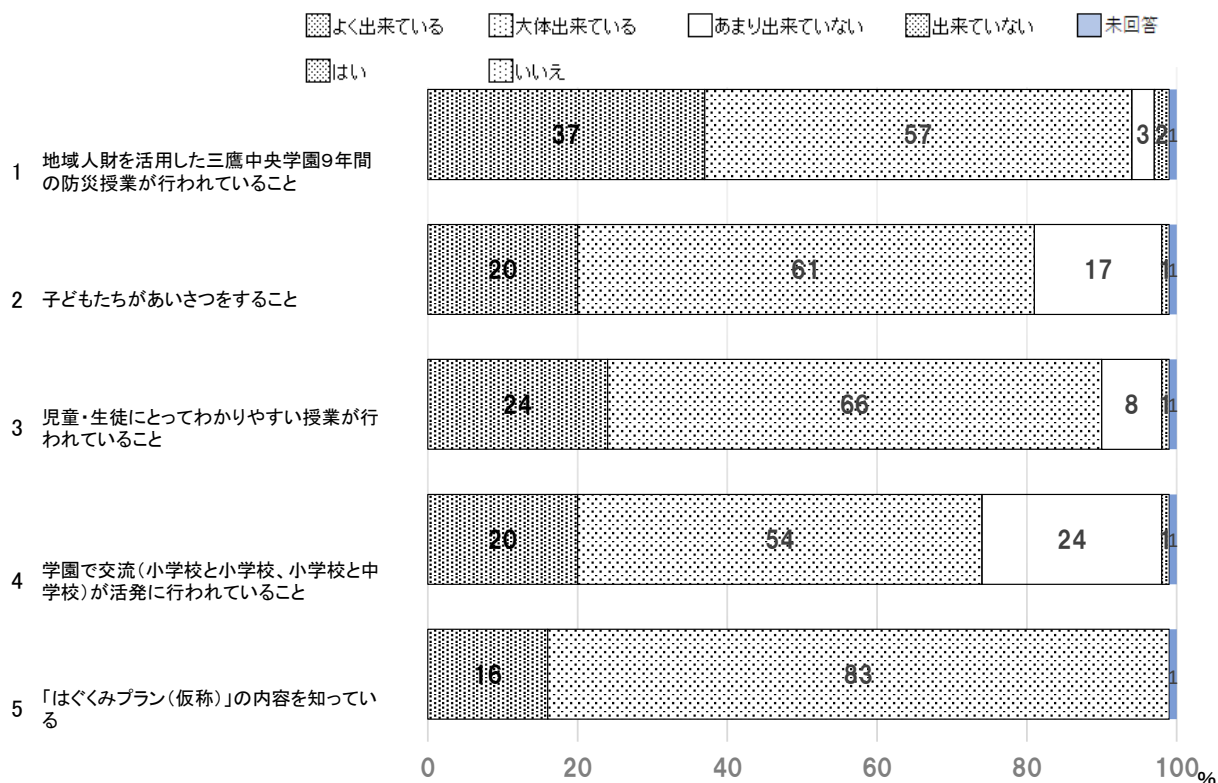


令和5年度 三鷹中央学園 学園・学校評価アンケートまとめ

【三鷹中央学園】

資料 2

アンケート実施日	: 令和5年10月20日～10月31日
アンケート対象者	: 三鷹中央学園(三小・七小・四中)保護者
回収率	: 854/児童・生徒数1556(55%)



アンケート結果から得られた成果と課題

※「肯定的回答」…「よく出来ている」「大体出来ている」の合計
 ※「否定的回答」…「あまり出来ていない」「出来ていない」の合計

成果

アンケート項目は昨年度の3項目から6項目に変更、共通の質問は、2番のみ。2「子どもたちがあいさつをすること」は、昨年度の79%から81%と2ポイント上昇した。今年度の学園あいさつ運動は、児童・生徒が工夫をしながら行い、楽しく充実したものとなった。今後も自発的な挨拶を促し、引き続き、家庭とも連携しながら、元気でさわやかな挨拶が飛び交う学園を目指す。

今年度、肯定的な回答が高かった(90%以上)のが、1「地域人財を活用した三鷹中央学園9年間の防災授業が行われていること」、3「児童・生徒にとってわかりやすい授業が行われていること」だった。防災教育は、三鷹中央学園の大きな特色の一つである。今後も授業の中で、知識や技術を身に付け、防災意識を高めさせたい。また、日々の授業については、2年間(R5、R6)市の研究協力校として授業改善に取り組んでいる最中である。引き続き、子ども自立した学びを目指して、授業改善に励んでいく。

課題

5「はぐくみプラン(仮称)」の内容を知っていますか。という問いに対して、「はい」と回答した保護者は、16%であった。質問も「内容を知っているか」という聞き方で、ハードルが高かったのかもしれない。アクションプランの改訂作業を2年半にわたって行ってきた中で、今年度、名称の募集も行い、正式に「中央学園スマイルアクション！」として周知を始めたところである。今後さらに、たより、ホームページ、掲示等、多くの手段を用い、周知していくこと。また、それぞれの役割ごとの具体的なアクションを熟議やアンケートにより作り上げていくことが必要となる。

回答率は昨年度58%、今年度55%である。これについては、今後検討が必要となる。